



つきみ野だより 第6号

会長挨拶 新しい年を迎えて～地域のつながりを大切に～



明けましておめでとうございます。
日頃より、つきみ野自治会の活動にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

昨年も、地域の皆さまのご協力のもと、さまざまな行事を実施することができました。子どもたちの笑顔にあふれた催しや、防災を意識した取り組みを通じて、改めて「顔の見える関係」の大切さを実感しております。

本年も、安心・安全で、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指し、役員一同取り組んでまいります。



引き続き、自治会活動へのご理解とご参加を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

つきみ野自治会 会長 林 正人

つきみ野クリスマス会2025（12月20日／つきみ野児童館） ～音楽と人形劇で楽しむ、心あたたまるひととき～

昨年のクリスマス会は、**がっちゃんこ人形劇団**と**つきみ野自治会**の共催により開催しました。当日は、**いせはらフィル**の**弦楽四重奏**をお迎えし、音楽と人形劇を組み合わせ、特別なプログラムとなりました。

第一部では、弦楽四重奏による演奏が行われ、楽器紹介を交えながら、クリスマスソングのメドレーなどが披露されました。間近で聴く生演奏に、子どもたちはもちろん、大人の皆さんも静かに耳を傾け、会場はあたたかな雰囲気に包まれました。

第二部では、がっちゃんこ人形劇団による人形劇や紙芝居、パネルシアター、参加型のゲームが行われ、子どもたちの笑顔と歓声が広がりました。最後にはサンタクロースからのプレゼントもあり、楽しいひとときの締めくくりとなりました。

音楽と物語が一体となった今回のクリスマス会は、世代を超えて楽しめる行事となり、地域のつながりを改めて感じる一日となりました。



どんど焼き（1月17日／熊ノ堂公園） ～つきたてのお餅と焼き芋で、笑顔あふれる新年行事～

1月17日（土）、熊ノ堂公園にて、つきみ野自治会恒例の「どんど焼き」を開催しました。冬晴れの空のもと、地域の皆さまに多数ご参加いただき、今年もにぎやかで温かな新年行事となりました。今年のどんど焼きは、**お餅つきをメインとした内容**で実施しました。朝から自治会役員を中心に準備が進められ、臼や杵の設営、もち米の蒸し上げなど、手際よく作業が行われました。餅つきが始まると、子どもたちが順番に杵を握り、大人に支えられながら力いっぱい餅をつく姿が見られました。



周囲では役員が声をかけ、杵の扱いや足元に注意しながら、安全に配慮して進めました。また、大人も久しぶりの餅つきに、慣れない手つきながら声を掛け合い、汗をかきながら餅をつき上げていました。



つきあがったお餅は、次々と丸められ、つきたてのお餅や焼きお餅を楽しみに、長い行列ができるほどの盛況となりました。味付けは、きなこ、あんこ、のりなどが用意され、参加された皆さんがそれぞれ好みの味で召し上がり、「やっぱりつきたては違うね」といった声があちこちから聞こえてきました。



今年も焼き芋が振る舞われ、事前に準備したレシピをもとに、火加減や焼き時間に気を配りながらじっくりと焼き上げました。中までほくほくで甘みのある焼き芋は大変好評で、寒い中、笑顔で舌鼓を打つ姿が印象的でした。行事の最後には、**消火訓練**を行い、火を扱う行事だからこそ、改めて安全への意識を確認する機会となりました。



準備から当日の運営、後片付けまで自治会役員の皆さんが力を合わせて取り組み、**楽しいどんど焼きを実施することができました。**ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



避難訓練（1月25日／つきみ野公園、熊ノ堂公園） ～いざという時に備えて、一時避難所への避難行動を確認～



1月25日（日）、伊勢原市総合防災訓練に合わせて、
つきみ野自治会として「一時避難所への避難訓練」を実施しました。

当日は、首都直下型地震による大規模災害の発生を想定し、防災無線による地震発生の放送を合図に、住民の皆さまが各地区ごとに定められた**一時避難所（つきみ野公園・熊ノ堂公園）**へ避難しました。

避難所では、組長を中心に避難者の氏名確認や名簿への記入を行い、実際の災害時を想定した避難行動や、安否確認の流れを確認しました。

また、組誘導係を配置し、住民への声かけや誘導を行うなど、自治会としての役割分担についても実践的な訓練となりました。訓練終了後、自治会役員は徒歩で大田小学校へ移動し、市全体の総合防災訓練にも参加しました。

今回の訓練を通じて、**「いざという時に、どこへ、どのように避難するか」**を、

地域全体で改めて確認する貴重な機会となりました。

今後も、災害に備えた取り組みを継続し、安心・安全な地域づくりを進めてまいります。



総合防災訓練（1月25日／大田小学校） ～いざという時に備えて、地域で確認～



一時避難所での訓練終了後、役員は大田小学校へ徒歩で移動し、市全体の総合防災訓練に参加しました。

会場では、消防・警察・自衛隊など関係機関による連携訓練が行われ、

消火活動の実演、消防車両や自衛隊車両の展示、災害対応資機材の紹介など、実践的な訓練の様子を見学しました。

また、給水支援車や災害対応車両、簡易テントなども展示され、災害発生時にどのような支援が行われるのかを具体的に知る貴重な機会となりました。

今回の訓練を通じて、**「避難する」「安否を確認する」「地域で助け合う」**という基本動作の重要性を再確認しました。

今後も、いざという時に落ち着いて行動できるよう、自治会として防災意識の向上に取り組んでいきます。

自治会館づくり検討委員会からの報告 つきみ野自治会 会長 林 正人 ～臨時総会を受け、新たな検討体制で自治会館づくりがスタート～

昨年10月に開催された臨時総会において、

「現在の建物について市から無償譲渡を受け、新築への建て替えを検討していく」

という方針が、賛成多数により可決されました。この決定を受け、自治会では検討を具体的に進めるため、「自治会館づくり検討委員会」を設置し、その下に **建設部会** と **コミュニティ部会（こどもの居場所づくり）** の2つの専門部会を立ち上げました。それぞれの部会が役割を分担しながら、建物の仕様や資金計画、将来の使われ方について、段階的に検討を進めています。

建設部会では ～「建設場所・規模・耐震性」 を軸に検討が進んでいます～

建設部会では、これまでに複数回の会合を重ね、新しい自治会館の**建設場所、建物の構造、規模、費用**について検討を行ってきました。

現在の検討では、

- ①工事期間中も現児童館を使い続けられる。
- ②公園内の見通しが良い。

これらを重視し、**公園の東側建設案**を軸に検討を進めています。

また、建物については

- ①耐震強度を最優先とする。
- ②現在の児童館と同程度のホール空間を確保する。

③延床面積は概ね35坪程度を目安に検討する。
以上の基本的な考え方をまとめました。

今後、地盤調査や複数社からの見積もりをもとに、具体的な計画案を絞り込んでいく予定です。



【東側自治会館とグラウンドのイメージ】

コミュニティ部会では ～「自治会館の使われ方」 を軸に検討を進めています～

コミュニティ部会では、

現在の児童館を利用している団体へのヒアリングや、他地区の自治会館の事例見学などを通して、「どのように使われる自治会館にするか」という視点で検討を進めています。あわせて、市からの特例補助金を受けるため、**自治会の法人化とそれに伴う規約の改正**についても検討しています。新しい自治会館では、これまで培われてきた「**こどもの居場所**」としての機能も大切にしながら、**地域の多世代が安心して利用できる施設**とすることを目指しています。

今後の検討予定について

今後は、建物計画や使われ方の整理、建設費を踏まえた資金計画、寄付や積立金などの進め方について検討を深めていく予定です。
令和8年4月の通常総会では、これまでの検討内容について中間報告を行い、ご意見を踏まえて内容を整理します。

令和8年6月の臨時総会では、役員間での検討・共有期間を経た上で、**自治会館建設に向けた計画および、法人化を見据えた規約の改定について議決を行う予定です。**

今後も「つきみ野だより」等を通じて、進捗状況をお知らせしてまいります。

編集後記

クリスマス会やどんど焼き、避難訓練と、年末年始に地域の行事が続きました。あわせて、自治会館づくりについても具体的な方向が少しずつ定まってきました。
本号が、つきみ野の「いま」をお伝えする一助となれば幸いです。

つきみ野だより 令和8年第6号
令和8年2月1日発行



つきみ野自治会の
ホームページでも掲載



編集・発行：つきみ野自治会広報